

## 横浜トリエンナーレサポーターの一部の方への eメールの誤送信について

横浜美術館を主会場として行われる「ヨコハマトリエンナーレ 2014」において、トリエンナーレを盛り上げる様々な活動を担っていただくサポーター（登録数 1,529 人：7 月 18 日現在）のうち 106 人（横浜美術館ボランティア 51 人を含む）に対して横浜美術館から活動案内の eメールを一斉送信する際、本来は「BCC」に送付先アドレスを設定して送信すべきところを誤って「宛先」に設定して送信をしてしまい、お互いのメールアドレスが見られる状態となってしまいました。

\*ヨコハマトリエンナーレ 2014 の開催期間：平成 26 年 8 月 1 日～11 月 3 日（URL：www.yokohamatriennale.jp）

### 1 概要

- (1) メール送信先 横浜トリエンナーレサポーターのうち団体向け事前ガイダンス及びギャラリートナーを担当する 106 人
- (2) 個人情報内容 氏名及びメールアドレス 106 件

### 2 事実の経緯

7 月 20 日 18 時 46 分	横浜トリエンナーレサポーターのうち 106 人に対して、横浜美術館・教育普及グループから活動案内の eメールを送信。
18 時 47 分	46 分に送信した eメールについて、送付先メールアドレスを「宛先」に設定して送信してしまい、お互いの氏名及びメールアドレスが見られる状態となっていたことが判明。
19 時 10 分	当該サポーター 106 人に対して謝罪とメール削除を依頼する宛先を「BCC」に設定した eメールを送信。
20 時 56 分	当該サポーターに対して、活動案内の eメールを再送信。
21 時 49 分	当該サポーターに対して、今回の件に関連し今後不審なメールなどが届くようなケースが発生した場合には、連絡と相談をして欲しい旨 eメールにて連絡（現時点で不審事例の報告はありません）。

### 3 原因

電子メール送信の際には「宛先」「CC」「BCC」をケースによって正しく使い分ける取扱いとしておりましたが、今回、送信作業時に誤って「宛先」を選択してしまうとともに、送信前の再チェックができていませんでした。

### 4 今後の対策

- 重要案件や外部宛てに大量の電子メールを送信する際には、複数人によるダブルチェックを徹底するとともに、個人情報の重要性や確実な事務の取扱いについて、全職員に注意喚起を行い再発防止に努めます。
- メールの発送管理などを行う既存システムを活用し、複数のメールアドレスを一つの eメールの中に設定することなく、各個人あてのメールを自動的に一斉発送できるような方法を至急検討します。

#### お問い合わせ先

横浜美術館 経営管理グループ長 操（みさお） 和憲 Tel 045-221-0307  
 横浜トリエンナーレ組織委員会 事務局長 帆足（ほあし） 亜紀 TEL 045-663-7232  
 文化観光局 創造都市推進課 トリエンナーレ担当課長 富士田 美枝子 Tel 045-671-3426